

いつも身近な存在でありたいと思っています

会宝通信 ~Kaiho journal~

第298号

発行日 2026年10月1日発行

9月12日～13日 青年塾 志実践全国大会 in 伊勢

こんにちは、社長の近藤です。9月12日と13日と、青年塾の志実践全国大会in伊勢に、会社の仲間15名と共に参加してきました。何度かこの会宝通信でもご紹介していますが、青年塾とは松下政経塾で塾頭を務められた上甲晃氏が創設した、志の高い人材や次世代のリーダーを育成するための民間研修です。その中で私は東海クラスの塾頭という役割をいただいているのですが、今回の講座は東海クラス主催ということで、準備から色々関わらせていただきました。

そんな全国大会ですが、まずは開催場所である伊勢神宮から学ぶことがたくさんありました。伊勢神宮の正式名称は「神宮」だということをご存知でしょうか？つまり、伊勢神宮は全国に約8万社ある神社の本宗に位置づけられていて、すべての神社の頂点であることを意味しています。日本の神々の最高位である天照大御神をお祀りする、唯一無二の存在であり「私の願いを叶えて欲しい」とお願いをするような場所ではないのです。そうはいつでも15年前に初めて伊勢神宮に行くまで、私はその理解がありませんでしたが・・・

さらに今回の全国大会で、上甲塾長からいただいた新たな学びもあり、それが次の2つの言葉です。

①「あらゆる困難なことがチャンスになる」

言葉で聞くとその通りだと思いますが、困難になった時にチャンスだと思えるような努力を普段からしていないと、なかなかできないことです。

②「継続は本気の証明」

今回の実践発表では、5,000日間欠かさずに情報発信を続けているという取り組みをされている人がいました。これは実に、13年半を超える年月になります。継続するには力が必要であり、その力の源には本気が必要だということです。何かをやろうと思うことは大切ですが、それを継続していくことで差がつくということであり・・・結局は「実践」することが重要ですね。私も行動していきます！！





キラリと光る存在に



●今月の出番●
会宝キッチン
横川 寛美さん

皆さん、こんにちは。今年の4月に入社いたしました会宝キッチンの横川です。結婚してからずっとパート勤務でしたが、一念発起して正社員を目指しました。毎日が目まぐるしく、夫や三人の子供達を巻き込んで家事をこなしています。

前職は幼稚園の給食を作っていました。園児の給食は食材を細かく切る、柔らかく煮る、薄味に仕上げる事が基本でしたが、今は真逆なので始めは戸惑う事が多かったです。でも、慣れない環境の中、優しく声をかけてくださる方が多く、とても感謝しています。

最近は、皆さんに昼食の時間をもっと楽しんでいただけるよう、新しいメニューにも積極的に挑戦しています。これからも会宝キッチンが皆さんの癒しの場、そして午後に向けての活力の源になるように、心を込めて昼食を作っていきます！



農業の取り組み ～農業事業部より～



みなさんこんにちは。社員の健康増進を目的に、農業事業部ではミニトマト以外にもいくつか農産物を栽培しています。その中のひとつに「大豆」があります。この大豆を使い、社内では活動中の健康経営チーム数名で、毎年自家製味噌を仕込んでいます（今年で3年目）。

味噌はまだ肌寒い2月頃に仕込み、暑い夏を越え、そして発酵が進んだ11月頃にやっと出来上がります。能登の天然粗塩や自然栽培のお米を発酵させた麹を使い、贅沢に仕上げています。今はまだ熟成中で食べられませんが、出来上がるのが楽しみです。

味噌の原料でもある大豆は、5月初旬に植えたものがこんなに大きくなりました（写真）。今はおつまみとして最高に美味しい枝豆の状態ですが、食べたい気持ちをぐっと抑え、カラカウに乾燥する秋ごろまでおあずけです。

11月初旬には収穫祭でこの大豆を刈り取り、叩いて大豆を脱穀します。そしてまた翌冬に味噌として生まれ変わる予定です。自動車リサイクルも自然も「循環」しているのは一緒ですね。

誰かのお役に立てる仕事に喜びを感じつつ、季節の変わり目も楽しんでいる今日この頃です。（担当：高崎）



会宝農園の野菜はこちらよりご購入いただけます ⇒



社員海外レポート



ナマステ！AKKの宮川です。

9月12日にニューデリーでインドが議長国を務めるBRICS首脳会議が開催され、中国の習近平国家主席やロシアのプーチン大統領をはじめ、各国首脳が集まりました。モディ首相は、発展途上国・新興国である「グローバルサウス」の発言力を高め、国際社会のルールを受け入れる側から、つくる側へ変わるべきだと訴えました。

インドの外交で興味深いのは、中国やロシアとの関係を維持しながら、日本や米国など西側諸国との協力も深めている点です。どちらか一方に属するのではなく、自国の利益を軸に相手を選び、上手く立ち回り、世界の橋渡し役を目指す。今回の会議からは、世界最大の人口、経済成長だけでなく、外交でも存在感を強めるインドのしたたかさと自信が感じられます。



今月のパチリ

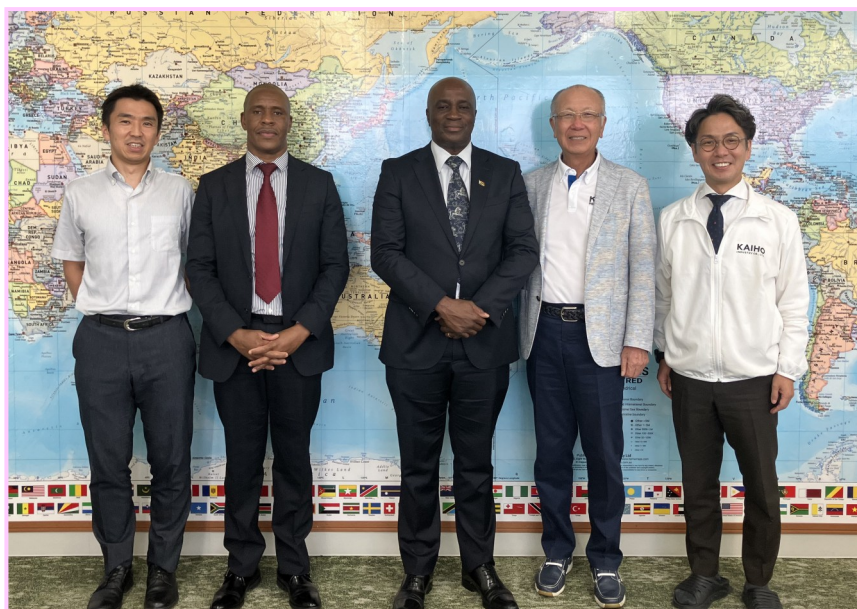


9月16日、駐日ジンバブエ共和国大使のステュワート・ニャコチョ氏がご来社されました。現在ジンバブエには、南アフリカやモザンビーク、タンザニアなどの港を経由し、日本から年間数万台の中古車が輸入されています。内陸国であるため正確な統計データには現れにくいものの、非常に多くの車両が流動しています。一方で、最近では道端に放置された廃車が目立つようになり、これらを適切に再資源化する仕組みづくりが急務となっています。こうした背景から、政府としての環境政策のあり方や、自動車リサイクル産業に求められる技術を学ぶ目的で当社の視察にお越しになりました。

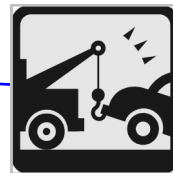
当日は当社の環境に配慮したリサイクルシステムをご紹介します、今後の協力可能性について対話が交わされました。

当社の技術と知見が、遠く離れたジンバブエの環境保護や循環型社会の実現に寄与できるよう、今後もグローバルな貢献を続けてまいります。

写真中央がステュワート・ニャコチョ大使です。（担当：川村）



相場情報 ～生産部より～



2026年9月 見込み台数

入庫台数 820台

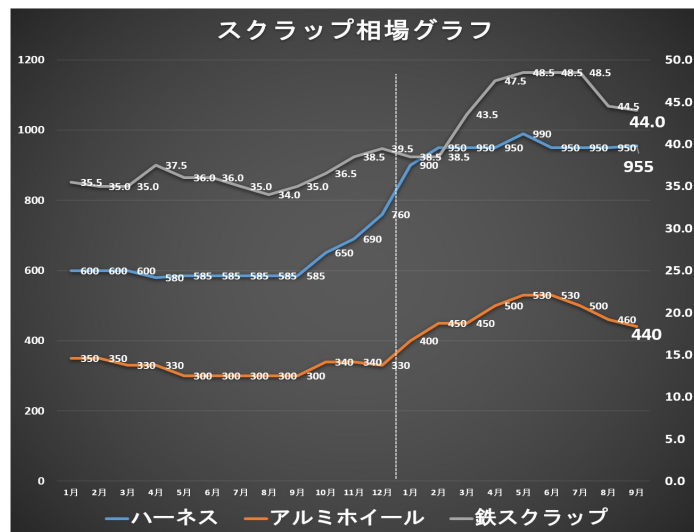
処理台数 740台

こんにちは、会宝産業の山口です。年々秋が短く感じるという話をよく耳にしますが、猛暑から突然、朝晩が少し肌寒く感じるようになって来ました。

急な変化は相場も同じで、9月中旬に起こった急な円高によって鉄の輸出相場も急落。本来は電炉メーカーの夏季減産が終わり、少しずつ相場が上がっていく見通しでしたが、今回は為替の影響が鉄相場を左右したかたちとなりました。

同じように銅関連の相場も為替の影響で下落基調でしたが、それに加えて米大統領の精錬銅に対する発言も影響しているようです。

一方、アルミ関連は課題だったメーカーの過剰在庫が解消方向へ動いていることから、需給バランスが取れ、大きく値が崩れるという状況では無いようです。



今月のピックアップ

～ 会宝リサイくるまつり ～

「会宝リサイくるまつり」は2011年にスタートし、途中コロナ禍での中断などもありましたが、おかげさまで今年は14回目を迎えます。近年の異常な猛暑を配慮して、昨年から秋開催となっております。

開催日：2026年10月10日（土） 9:00～15:30

ご来場いただく方に、より安心して安全に楽しんでもいただければと思っております。当日ご都合が良く、ご興味のある方は、ぜひお越しください！！毎年大人気の「くるま解体ショー」はもちろん、それ以外にも様々な楽しい企画をご用意しております。さらに今年初めての開催となる「“志&やさしさチェックシート”で、わが子の“すてき”を再発見！」というイベントもありますので、お子さんがいらっしゃる父兄の方はぜひぜひご期待ください。

この「会宝リサイくるまつり」の開催には、一般の方に「リサイクル」や「あとしまつ」について、もっと身近に感じて様々なことを学びきっかけにさせていただきたいという想いがあります。そしてこの「あとしまつ」は世代を超えて考えていくテーマです。だからこそ、大人の皆さまだけでなく、未来を担う子どもたちに多くの「楽しく学ぶ機会」をお届けしたいと思っております。（担当：佐藤）

※おまつりの詳細ならびにご協賛いただいている企業様情報は、こちらをご覧ください。 ⇒



会宝産業
Homepage



車買取
Homepage



会宝産業
note公式
(毎週木曜日更新)



会宝産業
X (旧Twitter)



会宝産業
Facebook



車買取
Facebook



会宝産業
Instagram



会宝キッチン
Instagram



QRコードを読み取るか、クリックしてご覧ください。

ご意見ご要望はこちらまで → TEL 076-237-5133 soumu@kaiho.co.jp (担当：川村)